



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月10日

上場会社名 セントラル硝子株式会社 上場取引所 東
コード番号 4044 URL: <https://www.cgco.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 前田 一彦
問合せ先責任者 (役職名) コーポレート・コミュニケーション部長 (氏名) 橋本 秀和 TEL: 03-3259-7062
配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無: 有
決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	105,459	△12.7	8,434	△20.1	10,024	△7.8	6,869	△26.1
2024年3月期第3四半期	120,869	△3.4	10,558	△15.5	10,871	△26.7	9,300	△57.2

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 6,898百万円 (△45.8%) 2024年3月期第3四半期 12,723百万円 (△33.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	277.21	-
2024年3月期第3四半期	375.34	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	205,858	121,003	56.6
2024年3月期	214,404	120,050	53.6

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 116,472百万円 2024年3月期 114,916百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	57.50	-	101.50	159.00
2025年3月期	-	85.00	-		
2025年3月期（予想）				85.00	170.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	145,000	△9.6	10,500	△27.7	11,800	△27.5	6,500	△47.9	262.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

※ 注記事項

(1) 当四半期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期3Q	26,000,000株	2024年3月期	26,000,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	1,216,081株	2024年3月期	1,219,794株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期3Q	24,781,937株	2024年3月期3Q	24,780,140株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式には、役員及び従業員向け株式交付信託口が保有する自己株式が含まれております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	4
(3) 当四半期の研究開発活動の概況	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(会計方針の変更に関する注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業収益に伴う、ソフトウェアを中心とした設備投資の増加や、消費者物価は依然上昇基調にあるものの、雇用・所得環境の改善による個人消費の持ち直しにより、緩やかな回復基調で推移しました。

一方、世界経済は個人消費と設備投資に支えられ、米国経済は堅調に推移しており、また、インフレの鎮静化、金融緩和により、欧州では景気の持ち直しの動きがありますが、不動産不況や海外からの直接投資の減少などにより、中国経済は依然として停滞が見られております。加えて、一部には停戦の動きがあるものの、ウクライナおよび中東における紛争の継続、米国新政権による政策の影響等、先行きは非常に不透明な状況が続いております。

このような経済環境の下、当社グループは積極的な販売活動を展開いたしましたが、当第3四半期連結累計期間の売上高は105,459百万円と、前年同期比12.7%の減少となりました。

損益面につきましては、経営全般にわたる業務の効率化・合理化施策を推進してまいりましたが、経常利益は前年同期比847百万円減少の10,024百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比2,431百万円減少の6,869百万円となりました。

セグメント別の概況

(化成品事業)

素材化学品につきましては、発泡剤原料の需要が回復したことに加え、農薬関連製品の販売も堅調に推移したことから、売上高は前年同期を上回りました。

医療化学品につきましては、海外向けの医療関連製品の出荷が低調に推移したため、売上高は前年同期を下回りました。

電子材料につきましては、A I半導体の需要増加により、半導体向け特殊ガスの販売が増加したため、売上高は前年同期を上回りました。

エネルギー材料につきましては、欧米を中心としたEVの需要低迷により、リチウムイオン電池用電解液の販売が減少したため、売上高は前年同期を大幅に下回りました。

肥料につきましては、原材料価格の低下に伴い、販売価格が低下しましたが、主力の被覆肥料の販売が堅調に推移したため、売上高は前年同期並みとなりました。

以上、化成品事業の売上高は61,694百万円（前年同期比18.5%減）となり、損益につきましては6,574百万円の営業利益（前年同期比1,820百万円の減少）となりました。

(単位：百万円)

	2024年3月期 第3四半期	2025年3月期 第3四半期	増減額	増減率
売上高	75,687	61,694	△13,992	△18.5%
営業利益	8,394	6,574	△1,820	△21.7%

事業別売上高

(単位：百万円)

	2024年3月期 第3四半期	2025年3月期 第3四半期	増減額	増減率
素材化学品	11,941	13,508	1,566	13.1%
医療化学品	11,694	10,268	△1,426	△12.2%
電子材料	13,279	16,832	3,552	26.8%
エネルギー材料	28,288	11,349	△16,939	△59.9%
肥料	6,653	6,634	△19	△0.3%
その他	3,828	3,101	△727	△19.0%
計	75,687	61,694	△13,992	△18.5%

（ガラス事業）

建築用ガラスにつきましては、建築需要が低調に推移したため、売上高は前年同期を下回りました。

自動車用ガラスにつきましては、顧客の一部稼働停止により販売は減少したものの、原燃材料他のコスト上昇を継続して製品価格に転嫁したことから、売上高は前年同期並みとなりました。

ガラス繊維につきましては、自動車分野では顧客の一部稼働停止の影響などから販売は減少、電材分野でも需要が低調に推移したものの、販売品目の構成差により、売上高は前年同期並みとなりました。

以上、ガラス事業の売上高は43,764百万円（前年同期比3.1%減）となり、損益につきましては1,859百万円の営業利益（前年同期比303百万円の減少）となりました。

（単位：百万円）

	2024年3月期 第3四半期	2025年3月期 第3四半期	増減額	増減率
売上高	45,182	43,764	△1,418	△3.1%
営業利益	2,163	1,859	△303	△14.0%

事業別売上高

（単位：百万円）

	2024年3月期 第3四半期	2025年3月期 第3四半期	増減額	増減率
建築用ガラス	18,061	16,674	△1,386	△7.7%
自動車用ガラス	20,886	20,763	△123	△0.6%
ガラス繊維	6,233	6,324	91	1.5%
その他	1	1	△0	△21.4%
計	45,182	43,764	△1,418	△3.1%

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ、受取手形、売掛金及び契約資産が2,346百万円、関係会社株式の売却などにより投資有価証券が3,980百万円それぞれ減少したことなどにより、8,546百万円減少し205,858百万円となりました。

負債は借入の返済などにより有利子負債が8,744百万円減少したことなどにより、9,499百万円減少し84,854百万円となりました。

純資産は配当金の支払により4,710百万円減少した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益により6,869百万円増加したことなどにより、953百万円増加し121,003百万円となりました。また、自己資本比率は3.0%増加し56.6%になりました。

(3) 当四半期の研究開発活動の概況

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、5,566百万円であります。なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(単位：百万円)

	2024年3月期 第3四半期	2025年3月期 第3四半期	増減額	増減率
研究開発費	4,829	5,566	737	15.3%

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、2024年5月10日に公表しました前回予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「2025年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

この連結業績予想は、当社が現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は様々な要因によりこれらの予想とは異なる場合があります。今後の状況の変化に伴う影響を慎重に見極めながら、適宜見直していくこととしております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,000	19,414
受取手形、売掛金及び契約資産	42,655	40,309
商品及び製品	28,768	30,203
仕掛品	2,553	2,956
原材料及び貯蔵品	17,754	17,049
その他	3,179	3,294
貸倒引当金	△116	△151
流動資産合計	115,795	113,075
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	18,335	17,964
機械装置及び運搬具（純額）	19,131	17,384
土地	20,483	20,483
建設仮勘定	2,033	1,577
その他（純額）	4,222	4,610
有形固定資産合計	64,206	62,020
無形固定資産		
その他	835	937
無形固定資産合計	835	937
投資その他の資産		
投資有価証券	22,345	18,364
その他	11,335	11,588
貸倒引当金	△113	△128
投資その他の資産合計	33,567	29,824
固定資産合計	98,609	92,782
資産合計	214,404	205,858

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,903	15,897
短期借入金	11,285	8,328
未払法人税等	1,973	644
契約負債	967	1,370
賞与引当金	1,246	396
事業構造改善引当金	105	105
その他	13,522	13,556
流動負債合計	45,004	40,299
固定負債		
社債	23,000	23,000
長期借入金	18,720	13,013
特別修繕引当金	2,058	2,372
役員株式交付引当金	32	56
従業員株式交付引当金	192	338
退職給付に係る負債	5,145	5,447
その他	200	326
固定負債合計	49,349	44,554
負債合計	94,353	84,854
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,168	18,168
資本剰余金	8,109	8,109
利益剰余金	80,443	82,602
自己株式	△3,829	△3,818
株主資本合計	102,891	105,062
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,680	5,884
繰延ヘッジ損益	21	20
為替換算調整勘定	5,543	4,902
退職給付に係る調整累計額	778	601
その他の包括利益累計額合計	12,024	11,410
非支配株主持分	5,134	4,531
純資産合計	120,050	121,003
負債純資産合計	214,404	205,858

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	120,869	105,459
売上原価	89,563	75,487
売上総利益	31,306	29,971
販売費及び一般管理費	20,748	21,537
営業利益	10,558	8,434
営業外収益		
受取利息	118	158
受取配当金	613	536
持分法による投資利益	—	342
為替差益	133	563
その他	1,150	936
営業外収益合計	2,016	2,537
営業外費用		
支払利息	266	226
持分法による投資損失	456	—
休止固定資産費用	105	289
その他	874	431
営業外費用合計	1,703	947
経常利益	10,871	10,024
特別利益		
固定資産売却益	59	—
投資有価証券売却益	1,897	—
為替換算調整勘定取崩益	—	1,177
事業譲渡益	70	—
特別利益合計	2,026	1,177
特別損失		
固定資産売却損	1	—
投資有価証券売却損	—	0
関係会社株式売却損	—	1,832
関係会社清算損	115	—
特別損失合計	117	1,833
税金等調整前四半期純利益	12,780	9,367
法人税等	2,759	1,879
四半期純利益	10,021	7,488
非支配株主に帰属する四半期純利益	720	618
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,300	6,869

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	10,021	7,488
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△267	204
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	2,366	110
退職給付に係る調整額	11	△177
持分法適用会社に対する持分相当額	590	△728
その他の包括利益合計	2,702	△589
四半期包括利益	12,723	6,898
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,752	6,255
非支配株主に係る四半期包括利益	970	643

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。）第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当社及び一部の連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

1 前第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	化成品事業	ガラス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	75,687	45,182	120,869	—	120,869
セグメント間の内部 売上高又は振替高	932	29	961	△961	—
計	76,619	45,211	121,831	△961	120,869
セグメント利益（営業利益）	8,394	2,163	10,558	—	10,558

(注) 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 当第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	化成品事業	ガラス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	61,694	43,764	105,459	—	105,459
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,057	15	1,072	△1,072	—
計	62,752	43,779	106,531	△1,072	105,459
セグメント利益（営業利益）	6,574	1,859	8,434	—	8,434

(注) 調整額は、セグメント間取引消去であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	6,813百万円	6,674百万円